

## 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
 (鉄電)二九三五(六・公衆)〇四七二(二二)七二〇七

### 二カ月の闘いいか んで、今後が決まる

幕張支部 滝口 誠

八六年の一年間は、日帝・支配階級、中曾根による戦後総決算、その中心としての国鉄解体攻撃と三里塚二期攻撃とのさまざまの攻防戦として激しく闘われた。そして、国鉄においても、三里塚においても闘う陣形は崩れるどころか、逆にガッチリとうち固められ八七年決戦を迎えた。

二八名の仲間の解雇、千名をこえる不当処分攻撃をうち破つての二波のスト、人活の仲間を先頭に現場からの反撃を開始し、修善寺大会で労使共同宣言を粉碎した国労の闘う仲間たちの奮闘、そして勤労高崎、水戸の仲間たちの決起と勤労総連合の結成等々、実に十年の経験を一足とびに味わい、勝ちぬいてきた一年間であった。

全組合員は自信と確信をもって八七年初頭の正念場決戦に突入した。

一ノ二カ月の闘いいかんで今後が決まる。首切りのための差別・選別との具体的対決、勤労千葉と国労解体攻撃を最終的に粉碎しきつたとき国鉄労働運動の輝かしい歴史は継承され職場は防衛される。かつて日本労働運動の戦う再生へ向けた橋頭堡は築かれる。革マルや、反動分子は闘う人民の怒りで一掃される。

## 87決戦の年を迎えて

敵、中曾根・杉浦は八六年の破産、危機に追いつめられ、そのとりもどしのためさまざま「決意」で勤労千葉、勤労総連合、国労切り崩しにうつつ出てくるだろう。しかし、我々は決してたじろがない。八六年の教訓をしつかりと我がものとして当局、勤労革マルどもによって虐殺された百名の仲間たちの怒りと無念を全身で受けとめ、断固として前に進み、その先頭で闘うことを年頭の決意とします。

### 互いを信じ、団結強化し、闘う体制堅持を

新小岩支部 関 豊

国鉄一四四年の歴史をかきかえるのだろうか。そして、日本労働運動総体がどうなるのか、極めて重大な年に突入した。自民党、財界は「赤字」国鉄を再建するには国鉄を「分割・民営化」するしかないというペテンで国鉄関連法案を数の暴力で強行成立させた。

ほんとうにダメな国鉄なのだろうか。一一四四年間、日本経済の中軸を担い、多くの先輩たちが風雪に耐えながら血と汗で築きあげた世界に冠たる国鉄、誇れる国鉄ではなかったのか。

「赤字」というが単年度は黒字経営であり、立派な優良企業である。問題は、長期債務で、これはわれわれ労働者の責

### 支部長の決意 2

任ではない。自民党・財界が喰いものにしてきたからに他ならない。十数年前、ときの国鉄磯崎総裁は借金も財産のうち心配することはないなどと言っている。この時点から、わかりきっていた事ではないか。

先の国会では、最も重要な長期債務や国鉄共済年金問題などについて解決しようとせず先送りされた。そして、性懲りもなく整備新幹線を着工しようとしている。

このことだけを見ても、財政再建などひとかけらも考えていないことがはっきりした。

国民・労働者を欺く大陰謀を絶対に許してはならない。敵の狙いは、まさに、労働運動解体、その一点にしぼられている。四月一日までに国労、勤労千葉の闘う国鉄労働者を一掃して、一企業一組合に御用組合をつくらうとしている。こんな攻撃は絶対許してはならない。

今こそ、互いを信じ合い、団結を強化して、さらに闘う体制を堅持していこう。

### 当面する主なスケジュール(1月)

- 15(休) 勤労水戸旗開き
- 16(休) 「労二報」広島上映会
- 17(主) 弁護士会総会、13日
- 17(主) 勤労高崎連帯旗開き
- 21(水) 木更津支部取集、13日
- 24(主) 県春南学習会、10日
- 25(日) 家族会総会、13日
- 26、27(中) 二次中江選対行動
- 31(主) 青年部・全活会議、10日

### 勤労組合員の屍体を踏みつけた 勤労革マルの生き残り する裏切者=松崎を許すな!

【佐賀】六日午後九時十分ごろ、佐賀県唐津市東唐津四ノ七〇一、国鉄唐津運転区職員渡辺義介さん(31)が、近くの国鉄宿舎の空き家で首をつって死んでいるのを近所の主婦が見つけた。唐津署は病氣など死因にした自殺とみている。

調べでは、渡辺さんは六十年十月に脳卒中の発作を起こした後、手足のしびれなどを

### 勤労組合員が自殺

1/8 (4葉日報)

訴えていた。最近ほうつ病で投薬治療を受けていた。じんましんで入院した昨年九月には「新会社へ移れなくなる」と言って一週間早く退院していた。

渡辺さんは勤労組合員で、五日は新会社の勤務地調査のことで主治医に相談、同日、希望地を上司に提出していた。遺書はなかった。

「死ぬほどの苦悶にさらされている勤労組合員にとって、勤労という「組合」は、もはや「相談」にすらなっていない存在ではなくなっている。勤労はこういう組合員「追い出し」の先陣だから。



国鉄改革労働組合協議会を結成して握手する、左から古川・真国労委員長、滝口・全施労書記長、杉浦国鉄総裁、志摩・鉄労組合長、松崎・勤労委員長＝東京・飯田橋のホテルで

労働者の生き血を吸う当局とどの忠犬=裏切り指導部こそ、地獄に落ちるべきだ!! この恨みを世に

家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!